



中南米・日本 火山災害軽減ミニワークショップの開催について

(お知らせ)

開催概要：有珠山及び中南米諸国の火山防災を考えるミニ国際ワークショップを開催します。エクアドルやグアテマラなど、中南米の国々から研究者や防災担当者らを招き、今後の火山防災のあり方について議論します。

開催趣旨：6月から約1ヶ月半にわたり、火山を有する中南米の国々から10名の研究者らが、国際協力機構(JICA)北海道の研修員として、日本の火山防災を学ぶために来道します。この機会を活かし、火山噴火による被害が共に頻発している日本と中南米の国々で、火山噴火災害の経験や減災・防災対策について論ずるミニワークショップを開催します。災害リスクの把握、情報システム、防災計画、避難体制、防災教育や住民啓発活動などに関する議論や、ポスター、展示資料等を通じて、各国の取り組みを学び合い、火山防災の今後について考えます。

日程：平成29年7月3日(月) 18:00~20:30

場所：北海道大学理学部5号館5-203講義室(札幌市北区北10西8) 札幌駅北口より徒歩15分

主催：JICA北海道・北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター

参加対象・募集人数：火山防災に興味を持つ一般市民・50人

参加費：無料

言語：日本語・スペイン語(逐次通訳あり)

プログラム：別紙チラシ参照

申し込み期間・方法：事前申し込み不要

お問い合わせ先

北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター 青山 裕(あおやま ひろし)

TEL：011-706-4845 FAX：011-746-7404 E-mail：aoyama@sci.hokudai.ac.jp

NPO法人環境防災総合政策研究機構 梅田 智子(うめだ さとこ)

TEL：011-271-2663 FAX：011-204-7367 E-mail：s.umedanpo@cemi.com



有珠山 77 噴火 40 周年記念

中南米・日本 火山災害軽減ミニワークショップ

2017 年度 JICA 北海道「中南米地域 火山防災能力強化研修」

日時 平成 29 年 7 月 3 日(月)

午後6時～午後8時 30 分

場所 北海道大学理学部 5-203(大講義室)

住所 札幌市北区北 10 条西 8 丁目



UBINAS, Peru



【講師及び話題提供内容】

- ①北海道大学総合博物館 研究員 新井田 清信 氏
『私が見た 1977-1978 年有珠山噴火
(スライドショーと解説)』
- ②中南米の事例紹介(エクアドル・グアテマラ)
- ③北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター 助教 青山 裕 氏
『有珠山の今とこれから』

Guatemala (Photo: Okada)

Agua

Fuego

【主催】 JICA 北海道

北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター

【お問い合わせ先】 NPO 法人環境防災総合政策研究機構 Tel : 011-271-2663

有珠山 77 噴火 40 周年記念

中南米・日本 火山災害軽減ミニワークショップ

2017 年度 JICA 北海道「中南米地域 火山防災能力強化研修」

日時：平成 29 年 7 月 3 日（月）午後 6 時～午後 8 時 30 分

場所：北海道大学理学部 5-203(大講義室)

《プログラム》

1 開会挨拶(5 分)

JICA 北海道 次長

2 話題提供(30 分)

『私が見た 1977-1978 年有珠山噴火(スライドショーと解説)』

北海道大学総合博物館 研究員 新井田 清信 氏

3 中南米噴火事例紹介(1)(30 分)

『エクアドル』 ダニエル・エステバン・シエラ・バカ 氏

国立工科大学地球物理学研究所

地球物理学モニタリングネットワークアナリスト

4 中南米噴火事例紹介(2)(30 分)

『グアテマラ』 ペドロ・パブロ・グラニジョ・シフエンテス 氏

国家防災調整局(CONRED) エスクウィントラ県ディレクター

5 質疑応答・討論(20 分)

コーディネーター 岡田 弘 氏

6 今後に向けて話題提供(15 分)

『有珠山の今とこれから』

北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター

助教 青山 裕 氏

7 閉会挨拶

特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構 理事

JICA 火山防災能力強化コース担当

北海道大学名誉教授 岡田 弘 氏

講師紹介



北海道大学総合博物館 研究員 新井田 清信 氏

- ・1947 年生まれ
- ・1976 年北海道大学大学院理学研究科博士課程修了 博士(理学)
- ・1977-78 年有珠山噴火の噴火観察と噴出物の調査研究、2000 年有珠山噴火の火山観測に従事。
- ・専門は、上部マントルカンラン岩の部分融解、および玄武岩質マグマの上昇移動の研究。現在、アポイ岳ユネスコ世界ジオパークの学術顧問で、ジオラボ「アポイ岳」(様似町アポイ岳地質研究所)所長。



国立工科大学地球物理学研究所
地球物理学モニタリングネットワークアナリスト
ダニエル・エステバン・シエラ・バカ 氏

- ・1991 年生まれ
- ・パーマネントネットワークやモバイル機器を用いた活火山のガス排出モニタリング。
- ・エクアドルの複数の火山地帯のガス排出や熱線観測のデータベースを担当。



国家防災調整局(CONRED) エスクウィントラ県ディレクター
ペドロ・パブロ・グラニジョ・シフエンテス 氏

- ・1981 年生まれ
- ・パカヤ火山、フエゴ火山の影響を受けるコミュニティとの協働。
- ・緊急時に、コミュニティで意思決定をする人に対して、啓発・助言を行う。
- ・2012 年のサンマルコスでの地震、洪水やその他の暴風雨について、各自治体に助言を行った。



北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター
助教 青山 裕 氏

- ・1974 年生まれ
- ・1996 年北海道大学理学部卒業
- ・2001 年東京大学大学院理学系研究科博士課程修了 博士(理学)
- ・2001 年北海道大学大学院理学研究科附属地震火山研究観測センター助手 2007 年から 同 助教
- ・地震動、空気振動、地殻変動など力学的な観点から研究を行っています。北海道内の火山のほか、ロシアやイタリアの火山でも共同研究を進めています。